



70
テレ
NIPPON TV
70th ANNIVERSARY

日本テレビホールディングス

2023年度 第1四半期 決算説明資料

2023年7月28日

決算概況と業績予想

本資料の内容には、将来に対する見通しが含まれています。しかし、実際の業績は、様々な状況変化や要因により、これらの見通しと大きく異なる結果となり得ることがあり、何らの保証やコミットメントを与えるものではありません。ご了承下さい。また、本資料の無断転載はお断りいたします。

2023年第1四半期概況

減収営業減益

■ 売上

原材料高の影響等により広告市況が厳しく、地上波テレビ広告収入が減少。
日本テレビ放送網以外のグループ企業は健闘が目立ち、トータルでは増収。

■ 利益面

主に放送収入の減少が影響し、営業減益。
持分法利益の改善等があり、経常利益以下は増益に。

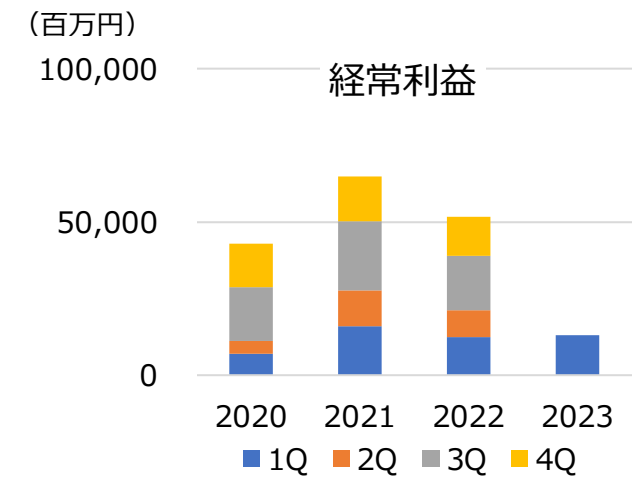
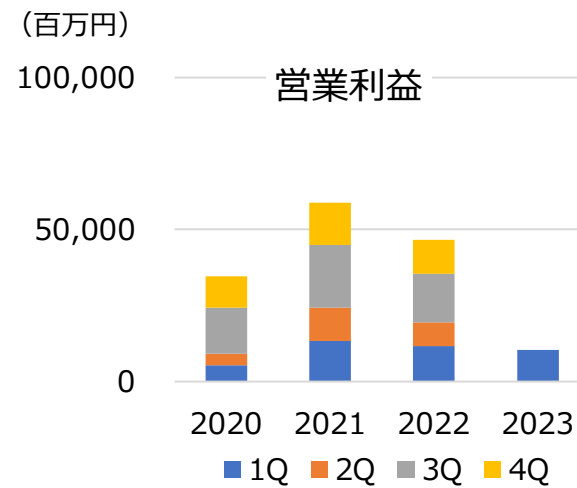
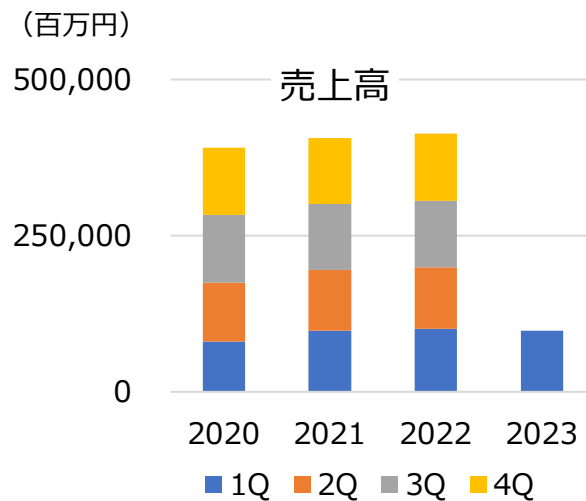
■ トピックス

- 日本テレビ放送網は、スポットシェアで圧倒的トップの約3割を継続的に確保。
デジタル広告と、アニメ、イベント、映画事業等コンテンツビジネスが伸長。
- ティップネスは、キッズスクールの好調と原価コントロールにより増収営業赤字縮小。
- コロナ影響が大きかったムラヤマは受注案件も増え、増収赤字縮小。
- Huluを運営しているHJホールディングスは、TVOD（都度課金）収入増加により増収増益。

日本テレビホールディングス：連結決算概況

(単位：百万円)

	2022年度1Q	2023年度1Q	前年差	増減率
売上高	100,453	98,010	△2,442	△2.4%
営業利益	11,692	10,344	△1,347	△11.5%
経常利益	12,472	13,203	731	5.9%
親会社株主に 帰属する四半期純利益	8,008	8,443	435	5.4%



HD:決算概況

グループ会社

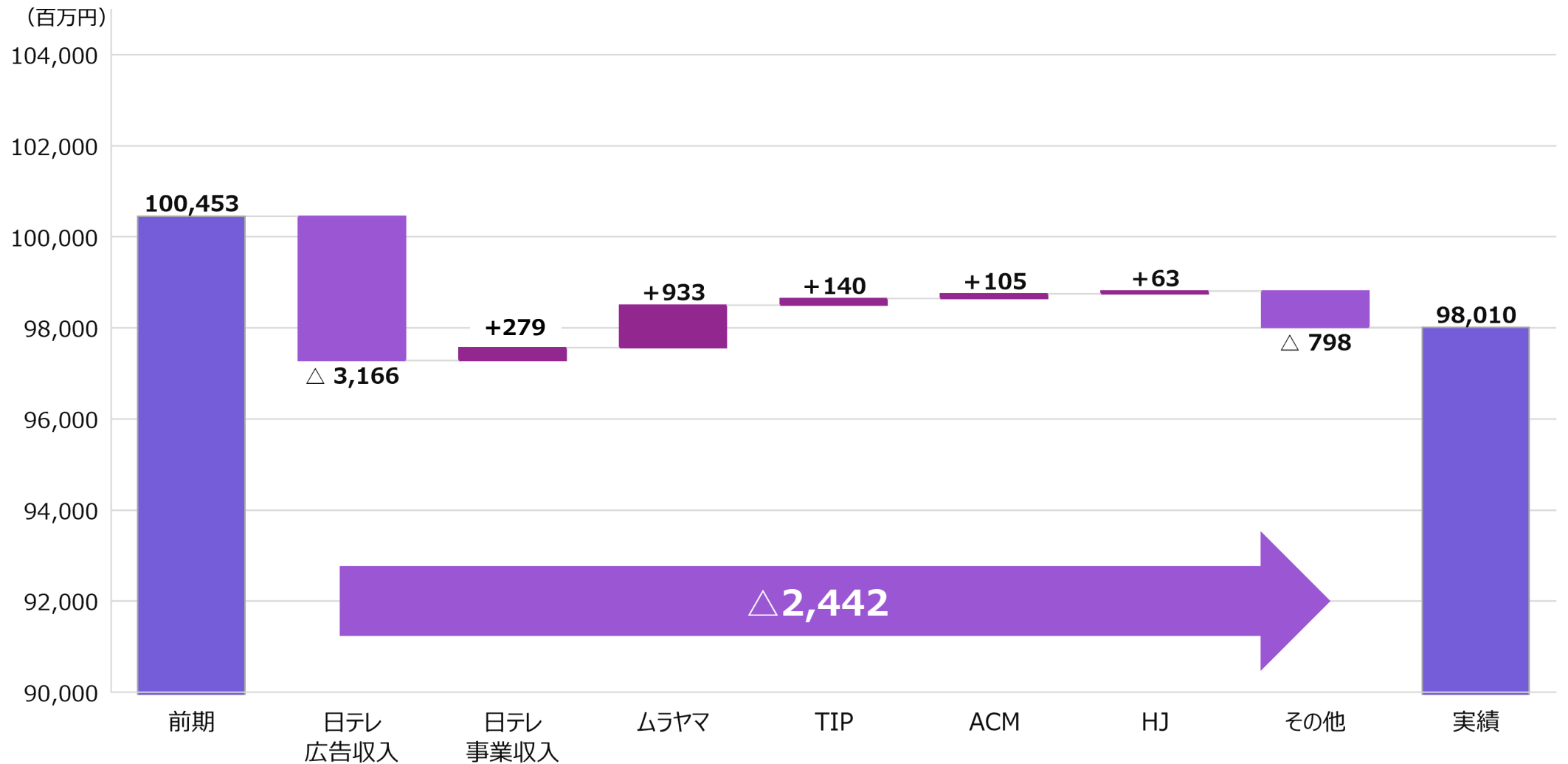
日本テレビ放送

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

売上高の前年同期増減分析



HD:決算概況

グループ会社

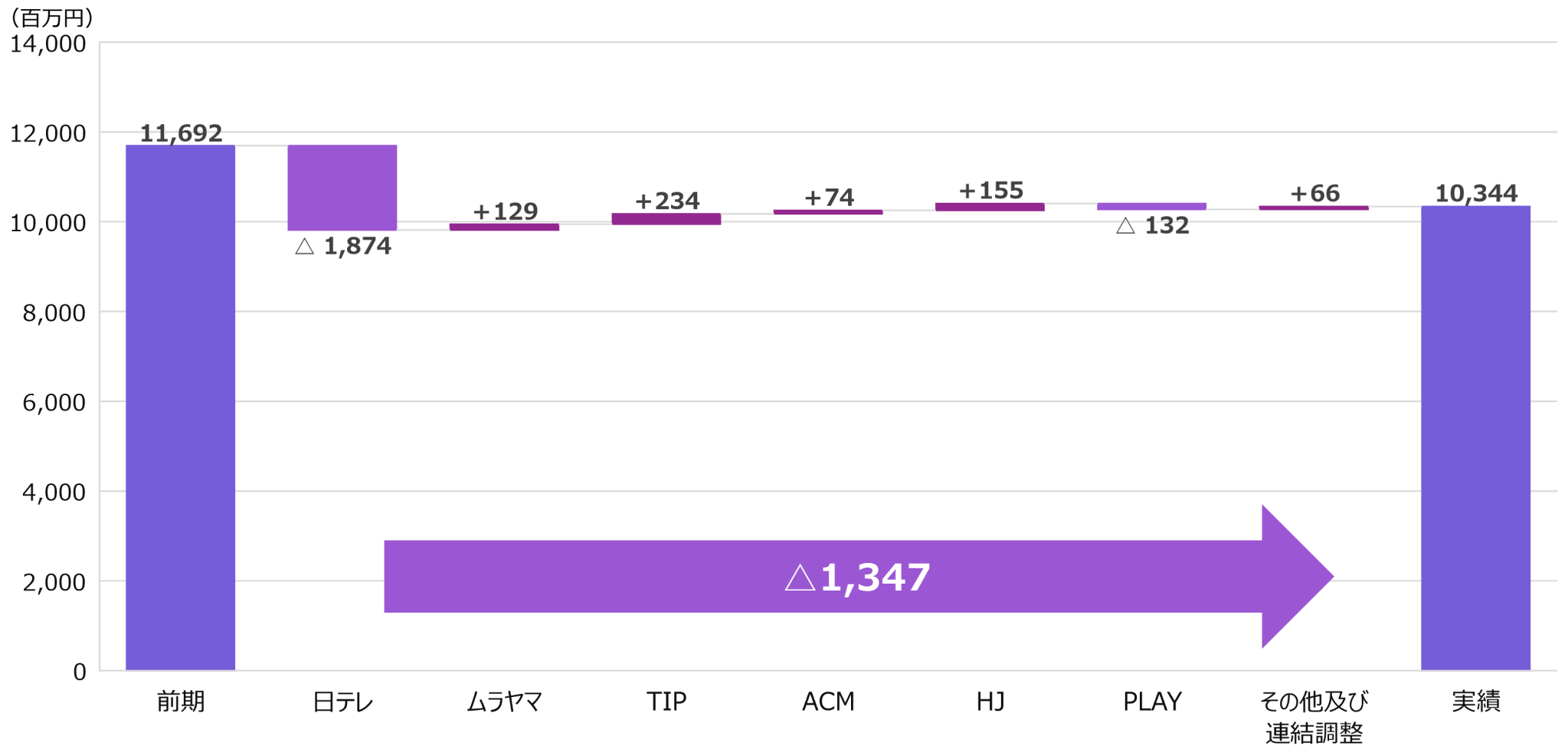
日本テレビ放送

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

営業利益の前年同期増減分析



HD:決算概況

- グループ会社
- 日本テレビ放送
- コンテンツ戦略
- 新規事業
- 補足資料

主なグループ会社の状況

- 連結決算への影響が大きい、日本テレビ放送網以外のグループ会社

※単位：百万円（%は前年同期比）

	BS日本		CS日本		日本テレビ音楽		バップ		ティップネス	
売上高	4,076	△1.9%	2,274	△9.3%	2,190	9.5%	1,653	△10.5%	6,598	2.2%
営業利益	244	△21.3%	△75	—	663	60.3%	536	61.5%	△21	—
経常利益	252	△20.1%	△73	—	680	56.3%	546	60.3%	85	—
四半期純利益	173	△20.6%	△73	—	446	55.9%	383	△45.0%	32	—

	ムラヤマ		タツノコプロ		HJ ホールディングス		ACM		PLAY	
売上高	3,212	40.6%	142	△86.6%	8,222	0.8%	1,118	10.4%	1,987	1.7%
営業利益	△73	—	△9	—	284	121.2%	209	55.3%	383	△25.7%
経常利益	△71	—	6	△95.2%	315	190.5%	220	52.8%	383	△23.6%
四半期純利益	△53	—	4	△95.2%	314	192.2%	216	55.9%	232	△23.7%

※前期もしくは当期損失計上の場合、増減率は(－)表記しています。

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

日本テレビ放送網：決算概況

- 減収減益
- 地上波テレビ広告の減収が影響
- TVer等のデジタル広告収入は増加
- 営業費用は番組制作費微増も、放送減収に伴い全体では減少

(単位：百万円)

	2022年度1Q	2023年度1Q	前年差	増減率
売上高	71,311	68,601	△2,709	△3.8%
営業利益	9,952	8,077	△1,874	△18.8%
経常利益	11,975	10,239	△1,736	△14.5%
四半期純利益	7,859	7,127	△731	△9.3%

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

日本テレビ放送網：広告収入詳細

(単位：百万円)

	2022年度1Q	2023年度1Q	前年差	増減率
広告収入	57,211	54,044	△3,166	△5.5%
タイム	27,130	25,016	△2,114	△7.8%
スポット	29,093	27,854	△1,238	△4.3%
デジタル広告	987	1,173	186	18.9%

* 2022年度よりTVer等による「デジタル広告」欄を追加

2023年度 広告収入前年同月比

タイム	増減率
4月	△4.8%
5月	△9.8%
6月	△8.5%

スポット	増減率
4月	△3.2%
5月	△5.0%
6月	△4.8%

デジタル広告	増減率
4月	17.2%
5月	29.6%
6月	12.3%

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

日本テレビ放送網：営業収支詳細

(単位：百万円)

営業収入	2022年度1Q	2023年度1Q	前年差	増減率
広告収入	57,211	54,044	△3,166	△5.5%
番組販売収入	2,726	2,745	18	0.7%
事業収入	10,787	11,067	279	2.6%
不動産賃貸収入	585	744	158	27.1%
合計	71,311	68,601	△2,709	△3.8%

営業費用	2022年度1Q	2023年度1Q	前年差	増減率
番組制作費	21,442	21,531	89	0.4%
人件費	5,960	5,781	△178	△3.0%
減価償却費	2,215	2,310	95	4.3%
事業費	8,944	9,333	389	4.4%
その他	22,798	21,569	△1,229	△5.4%
合計	61,359	60,524	△834	△1.4%

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

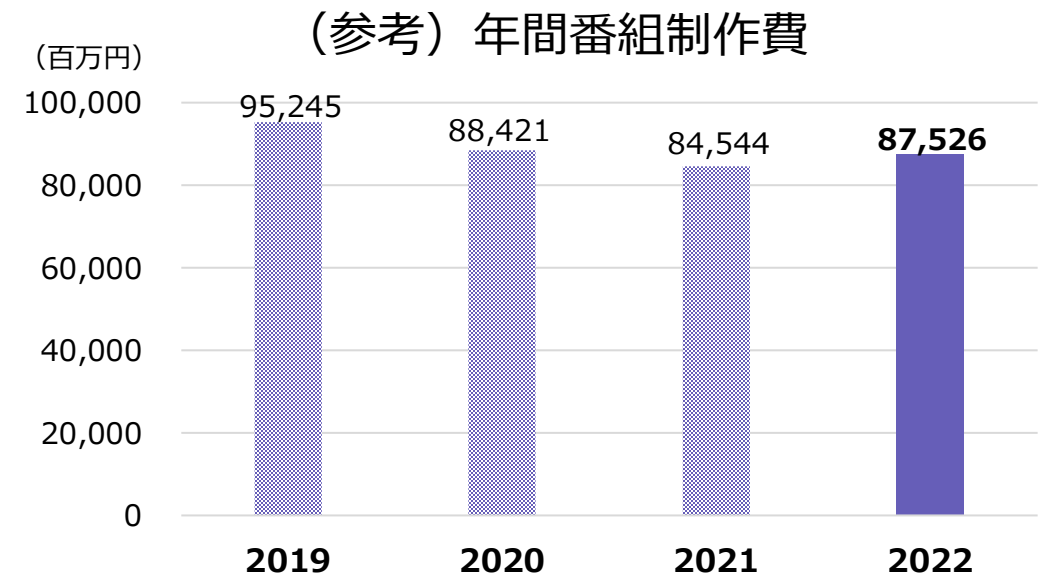
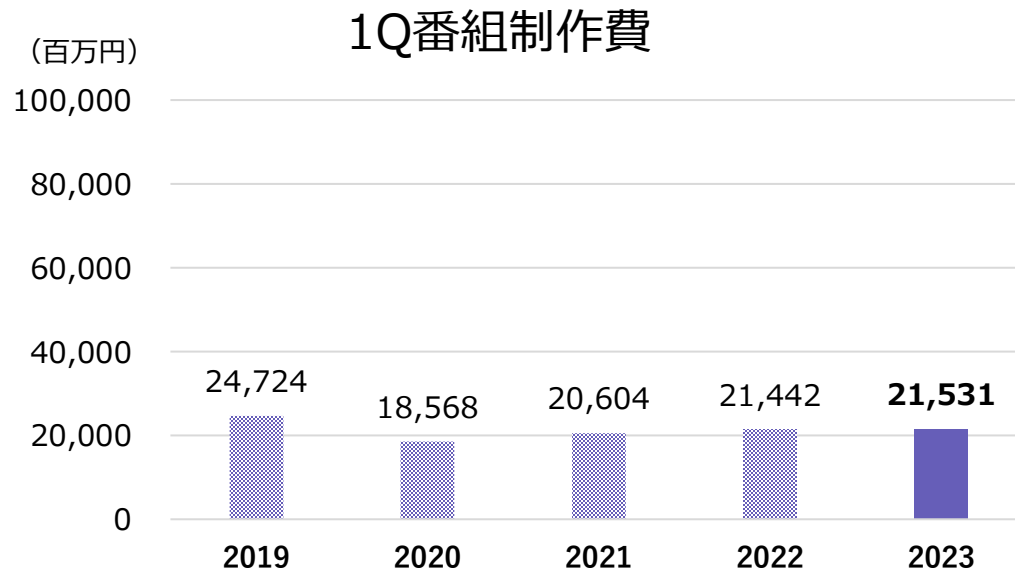
新規事業

補足資料

日本テレビ放送網：番組制作費

(単位：百万円)

2022年度1Q	2023年度1Q	前年差	増減率
21,442	21,531	89	0.4%



HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

日本テレビ放送網：主な事業収支

(単位：百万円)

	収入		収支		特筆点
	2023年度1Q	増減率	2023年度1Q	増減率	
映画	954	△3.3%	601	△8.9%	コナンが大ヒット。前年同期は過去作品の二次収入が好調だった。
イベント	1,519	125.5%	234	94.2%	ルーヴル美術館展（東京）、ディズニー・イマーシブ展が好調。
リテールビジネス	1,703	△12.3%	28	△67.6%	テレビ通販では増益だったが、外部モール一時閉鎖の影響が大きかった。
アニメ	1,515	66.8%	644	44.6%	HUNTER×HUNTERに加え、アンパンマン、EDENS ZEROの海外展開好調。
海外番販 (除アニメ)	312	△56.9%	264	29.4%	売上は前年同期の「金田一少年の事件簿」のDisney+への販売の反動減が大きい。
IPビジネス	688	△27.9%	248	10.1%	前年同期は大型興行があったため減収だが、人IP関連の利益で増益に。
コンテンツビジネス	354	△0.1%	194	0.9%	地上波放送番組の2次利用（ビデオパッケージ、出版、商品化、フッテージ、BS/CS番販等）

* 2021年度より、海外へのアニメ販売分はそれまでの「海外」から「アニメ」に計上を変更しています。

* 旧「通販」は、社内の称号に合わせ「リテールビジネス」としました。

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

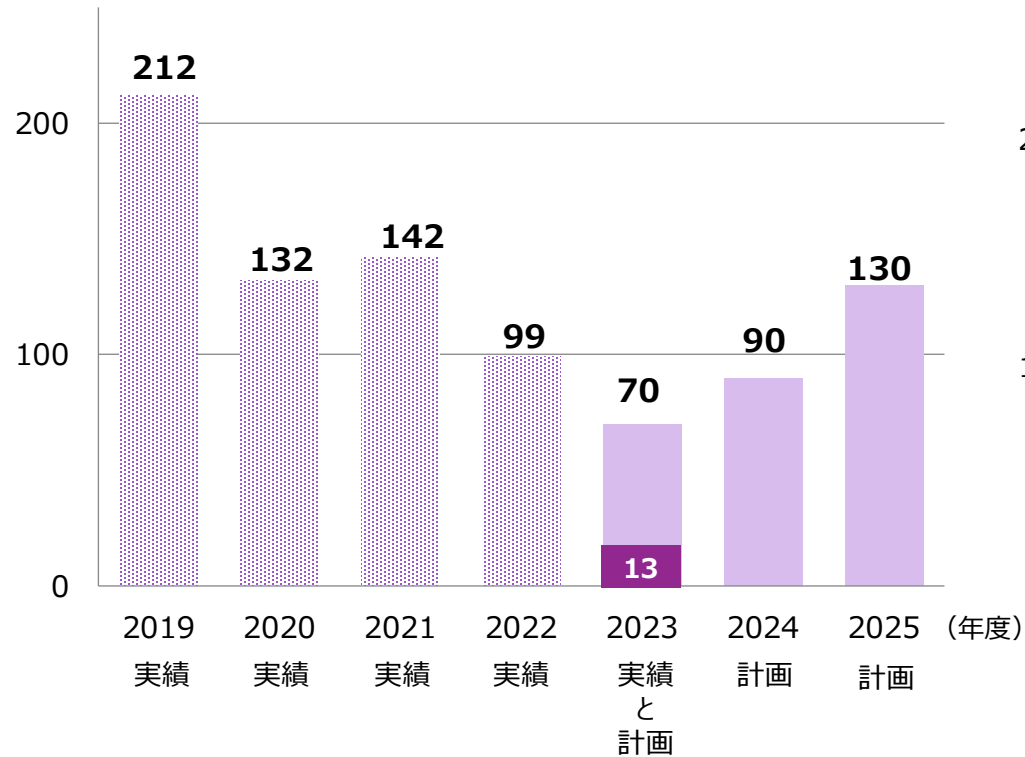
補足資料

設備投資と減価償却

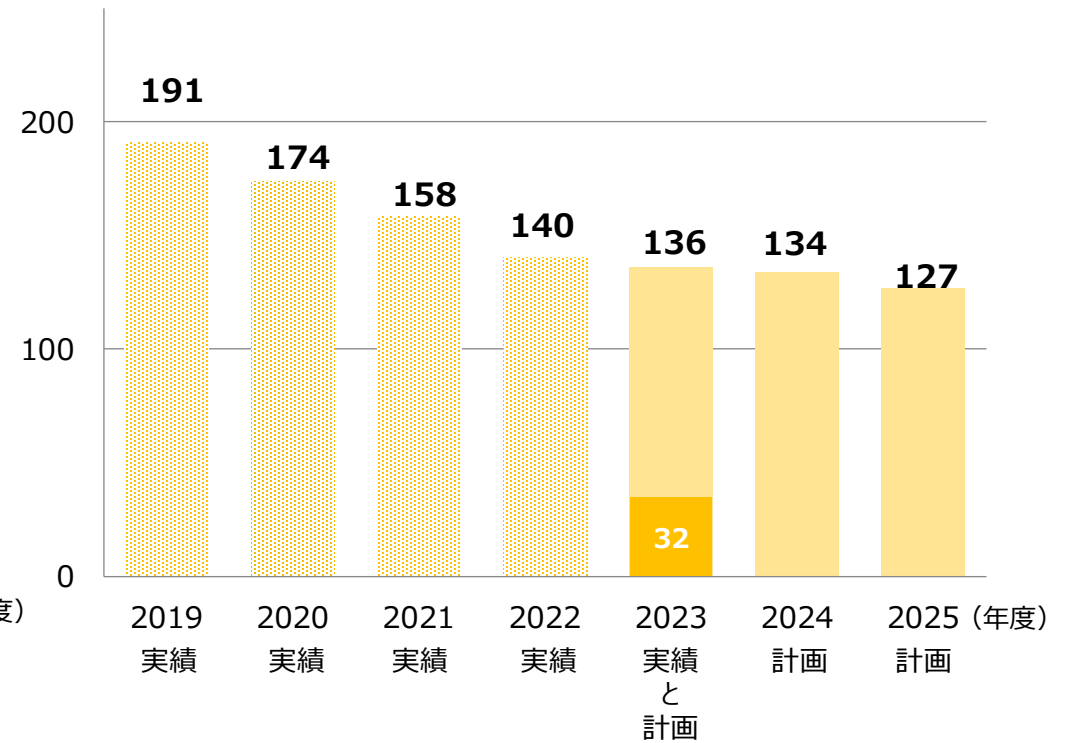
(単位：億円)

	設備投資額	減価償却費
2023年度 1Q	13	32

年間設備投資額



年間減価償却費



HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

コンテンツ戦略

コンテンツ戦略局 組織改編 (23年6月1日付)

「配信部門」と「デジタルマーケティング部門」を
旧ICTビジネス局からコンテンツ戦略局へ移管



「放送」と「配信」のシナジーに
「マーケティングコミュニケーション」を掛け合わせ、
「コンテンツ中心主義」を強力に推進する組織へ！

方針・目標

① 個人・コア視聴率「三冠」継続

- ・前例にとられない戦略策定
- ・制作力強化、人材開発・育成

② 配信事業のグロース

- ・「TVer」などAVOD事業の成長
- ・「Hulu」事業の支援

③ マーケティングコミュニケーション施策の強化

- ・「地上波」と「配信」を横断する形で
BUZZを生み出す新戦略を策定

④ 新規事業開発・グループ戦略支援

- ・放送とのシナジーを活かした
新規事業開発やグループ事業支援

「放送＋配信」の新ドラマ施策

7月期ドラマで「放送＋配信」の新施策

【A】「最高の教師 1年後、私は生徒に■された」

- ・土曜午後10時OA／54分／全国ネット
- ・放送後にTVer・Huluで見逃し配信
- ・番組内容に連動した配信・WEBオリジナルコンテンツを展開

【B】「最高の生徒 余命1年のラストダンス」

- ・土曜午後2時30分OA／30分／関東ローカル
- ・日テレ「Zドラマ」第6弾（Z世代向けドラマ）
- ・「最高の教師」の隣のクラスで起こるアナザーストーリーを描く
- ・各話放送後にTVerで「完全版」配信（全話放送終了後にHuluでも配信）
- ・VLOGやショート動画の配信などZ世代を意識した施策多数

＜新ドラマ施策の特徴＞

クロスオーバーする2つの作品が、同時期に放送と配信で並行して進む新スタイル。**2作品×放送×配信で、今までにないリーチとBUZZを生み「コンテンツの価値最大化」が期待できる取り組み。**

2作品を連動させた広告セールスも成約しており、広告主の皆様からも期待感を持って注目されている。



今秋は日本中がバスケットとラグビーに熱狂する！

これほど日本を応援したい年はない。

Wワールドカップ

**バスケットボール
ワールドカップ
8月25日(金)開幕**

日テレ系でW中継

**ラグビー
ワールドカップ
9月8日(金)開幕**

日テレ
NIPPON TV
70th ANNIVERSARY

4年前の「ラグビーW杯」、2年前の「東京オリンピック・パラリンピック」…
この秋、あの熱狂が再び日本を包む！
バスケットとラグビーのW杯を日本テレビが生中継でお伝えします

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

2023年4月クール 個人全体視聴率

2023/4/3(月)～2023/7/2(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX
全日 (6～24時)	① 3.4	① 3.4	③ 2.6	⑤ 1.1	④ 2.3
プライム (19～23時)	① 5.1	① 5.1	③ 4.0	⑤ 2.6	④ 3.6
ゴールデン (19～22時)	① 5.4	② 5.1	③ 4.1	⑤ 3.0	④ 3.5
ノンプライム (全日－プライム)	① 2.9	① 2.9	③ 2.2	⑤ 0.7	④ 1.9
プラチナ (23～25時)	① 2.6	② 1.8	③ 1.7	⑤ 0.7	③ 1.7

左からデジタルチャンネル順／個人視聴率（関東地区）ビデオリサーチ調べ

- 日本テレビは4月クール「個人3冠」を獲得
- 2023年6月までの26週中12週で「個人3冠」

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

2023年4月クール コアターゲット視聴率

2023/4/3(月)～2023/7/2(日)

	NTV	EX	TBS	TX	CX
全日 (6～24時)	① 2.6	④ 1.2	③ 1.5	⑤ 0.5	② 1.7
プライム (19～23時)	① 4.3	④ 2.3	② 3.0	⑤ 1.2	③ 2.8
ゴールデン (19～22時)	① 4.6	④ 2.2	② 3.0	⑤ 1.3	③ 2.8
ノンプライム (全日－プライム)	① 2.2	④ 0.9	③ 1.1	⑤ 0.2	② 1.4
プラチナ (23～25時)	① 2.2	③ 1.4	④ 1.3	⑤ 0.5	② 1.5

左からデジタルチャンネル順／個人視聴率（関東地区）ビデオサーチ調べ

■日本テレビは4月クールも「コア3冠」獲得

※コアターゲットは「男女13-49歳」を指す日本テレビオリジナル指標
「クライアントニーズ」が高い、就業就学者にどれだけ支持されているかを示す

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

2023年度 映画・イベントビジネス

●映画『キングダム 運命の炎』 2023年7月28日(金)全国東宝系にて公開

シリーズ累計100億円突破！日テレを代表する大人気映画の最新作がいよいよ公開！

2019年『キングダム』57.2億円、2022年『キングダム2 遥かなる大地へ』52億円と、それぞれの年の邦画実写No.1を獲得した大人気シリーズの第3弾『キングダム 運命の炎』が、7月28日に公開されました。シリーズ最高傑作との呼び声も高い最新作にご期待下さい。

出演：山崎賢人・吉沢亮・橋本環奈・清野菜名・佐藤浩市・山田裕貴・杏・山本耕史・片岡愛之助・要潤・玉木宏・大沢たかお
主題歌：宇多田ヒカル／監督：佐藤信介／脚本：黒岩勉 原泰久



©原泰久／集英社 ©2023映画「キングダム」製作委員会

●ディズニー・アニメーション・イマーシブ・エクスペリエンス

2023年4月29日(土)～8月31日(木) 会場：森アーツセンター&スカイギャラリー（六本木ヒルズ森タワー52階）

ディズニー・アニメーションの世界を映像と音楽で没入体験！

まるでディズニー映画の中に入り込むような体験を生み出すディズニー初の完全没入型イベント。2022年末に北米でスタートし、日本が記念すべき海外巡回1か国目となります。開幕から沢山のお客さまにご来場いただき、7月9日(土)までに来場者16.6万人を突破。さらに後期は展示エリアを拡大。地上218mからの絶景を背景にした『美女と野獣』の舞踏会シーンのフォトスポットは東京会場ならではの必見ポイントです！



●金曜ロードショーとジブリ展

2023年6月29日(木)～9月24日(日) 天王洲・寺田倉庫 B&C HALL/E HALL

「金曜ロードショー」の歴史をたどりながら、スタジオジブリ作品の魅力を紹介！

これまで200回以上にわたってスタジオジブリ作品を放映してきた「金曜ロードショー」。その歴史はスタジオジブリの人気と作品評価を不動のものとしていく足跡と共にあります。本展では時代ごとの記憶と記録を通じ、スタジオジブリ作品が持つ時代性と普遍性を浮かび上がらせます。また「風の谷のナウシカ」に登場する“腐海”を表現した空間「風の谷のナウシカ 王蟲の世界」や、映画の世界に飛び込めるようなフォトスポットも登場。体感型の展示会をどうぞお見逃しなく！



2023年度 アニメビジネス

● 葬送のフリーレン

9/29金曜ロードショーで初回2時間スペシャル放送、以後新アニメ枠で放送

マンガ大賞2021受賞作が待望のアニメ化！魔法使いフリーレンと仲間たちの旅路。

勇者とそのパーティーによって魔王が倒された“その後”の世界を舞台に、勇者と共に魔王を打倒した千年以上生きる魔法使い・フリーレンと、彼女が新たに会おう人々の旅路が描かれる。

コミックスは累計880万部、「マンガ大賞 2021」大賞、「第 25 回手塚治虫文化賞」の新生賞を受賞するなど、漫画ファンの間で旋風を起こしている本作が、いよいよ TV アニメ化！

原作：山田鐘人・アベツカサ/『週刊少年サンデー』連載

監督：斎藤圭一郎 制作：マッドハウス



● 薬屋のひとりごと

23年10月放送

後宮を舞台に毒見役の少女が、様々な難事件を解決する、謎解きエンタテインメント

花街で薬師として働いていたが、故あって今は後宮で下働き中の娘、猫猫（マオマオ）。

侍女仲間から聞いた「噂話」に好奇心から首を突っ込んだ結果、美形の宦官・壬氏（ジンシ）等、様々な人物の目に留まり、後宮での策謀やトラブルに巻き込まれていく…

シリーズ累計 2100 万部突破の大人気原作が待望のアニメ化！

原作：日向夏/ヒーロー文庫 監督：長沼範裕

キャラクター原案：しのとうこ

制作：TOHO animation STUDIO×OLM



HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

2023年度 IPビジネス

今年もエンターテインメント界の話題となる、多くのIPを生み出し、成長させています。

◆“楽器を持たないパンクバンド”BiSHが人気絶頂の中解散。そのメンバー自身が「第2のBiSH」を発掘するオーディション番組「BiSH THE NEXT」。最終回生放送で、ついにデビューメンバー6名が、新グループ「BiTE A SHOCK」に決定しました。



◆ロックバンド「女王蜂」のカリスマヴォーカル・アヴちゃんがプロデュースする、7人組のオルタナティブ歌謡舞踊集団「龍宮城」。5月にメジャーデビュー後、9月の初単独ライブはすでに軒並みソールドアウト！活躍の場を拡大する彼らに是非ご注目下さい。



◆LDHの人気グループ・FANTASTICSの冠番組「FUN! FUN! FANTASTICS」と、その番組と連動する舞台「BACK TO THE MEMORIES」。番組は放送のたびにトレンド入りし、舞台事業も3年連続で規模を拡大。今年は、9月から東京・大阪・愛知に加え福岡でも初めての公演が決定！5万席のチケットが完売する人気IPに成長しました。



◆NiziUを生んだ J.Y. Park 総指揮のプロジェクト、待望の第二弾！今回はボーイズグループのオーディションとなる『Nizi Project Season 2』がついに開幕！朝の情報番組『DayDay.』でもデビューまで総力特集！10月からはレギュラー番組放送も決定しています。

HD:決算概況

グループ会社

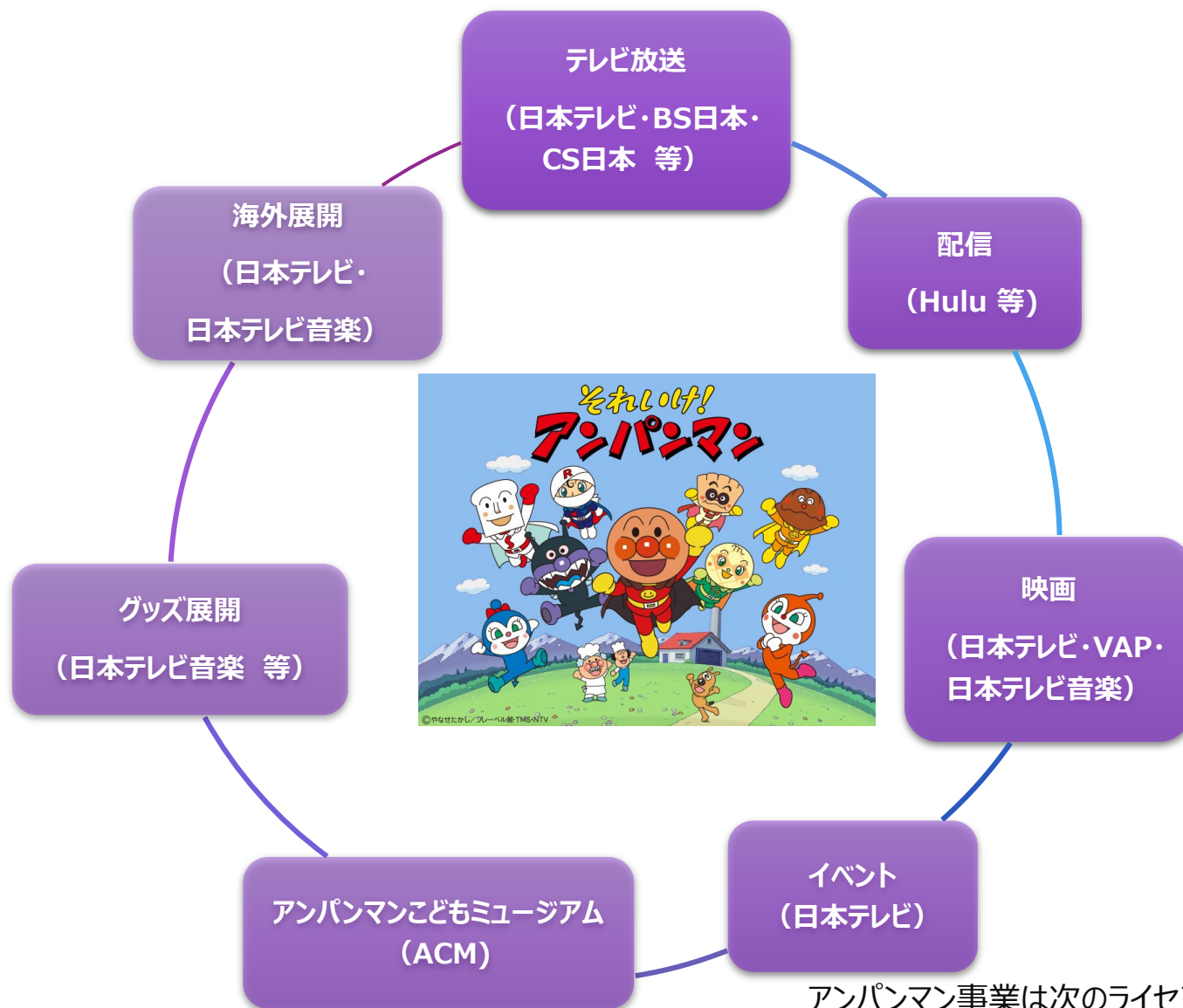
日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

IP : アンパンマンの展開



【TOPICS】

<日本テレビ音楽> 中国とライセンス契約締結

2023年6月 中国 上海新創華文化発展有限公司とライセンス契約を締結。新たに中国でもアンパンマンを展開。

巨大市場で新たな収益機会。

<ACM> アンパンマンこども ミュージアム運営

横浜・名古屋・仙台・神戸・福岡でアンパンマンこどもミュージアムを運営。

コロナ後入場者数も堅調に増加。インバウンドも回復中。

併設ショップでのグッズ展開も好調。

アンパンマン事業は次のライセンサーで展開しています。

©やなせたかし/フレーベル館・TMS・NTV

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

HJホールディングス

Huluとディズニープラスのセットプランを提供開始！

定額制動画配信サービス（=SVOD）である「Hulu」と「ディズニープラス」をお楽しみいただける「**Hulu | Disney+ セットプラン**」を7/12（水）から提供開始いたしました。世界と日本のエンターテインメント・コンテンツを、お得な価格で幅広くユーザーのみなさまにお届けいたします。

このセットプランにより、「Hulu」が誇る国内外の人気ドラマ・バラエティー・アニメ・音楽ライブ・スポーツ中継・ニュースチャンネルから、「ディズニープラス」で楽しめるディズニー、ピクサー、スター・ウォーズ、マーベル、ナショナル ジオグラフィックなど、映画・アニメ・ドキュメンタリー、さらには両者のオリジナルコンテンツや独占配信作品まで、幅広いラインナップが揃います。



HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

■ 第2Qも話題の独占作品が目白押し

- ・2020年に社会現象を巻き起こしたオーディション番組「Nizi Project」そのシーズン2が7月から配信開始！今回は、ボーイズグループ誕生までの奇跡を追ったドキュメンタリーで、その完全版をHuluで独占配信。



- ・「ウ・ヨンウ弁護士は天才肌」を手掛けた『KT STUDIO Genie』が制作する韓国で最も美しい女優キム・テヒと「ザ・グロリー」で世界的注目を集めたイム・ジヨンが共演し、韓国で話題沸騰のサスペンススリラー「庭のある家」、そしてイエルら実力派女優が集結した「ハピネスバトル」を8月から独占配信！



HJホールディングス

(単位：百万円)	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
2023年度1Q	8,222	284	315	314

■ Huluオリジナルの海外共同製作による大型作品が続々！日本のスター俳優が出演！

- ・6月から、福士蒼汰が出演する「THE HEAD」 Season 2 が配信開始！洋上の貨物船という隔絶された世界での極限心理サバイバルスリラー。
- ・9月には山下智久が海外ドラマ初主演の「神の雫／Drops of God」を配信予定！ワインブームを巻き起こした原作を大胆にアレンジ。
- ・2024年に配信予定の「Concordia」には海外ドラマ・デビューとなる中島健人が出演！実験的なユートピアであるコンコルディアを舞台に“監視社会”を描くスリラー・ドラマ。



■ Hulu独占の人気コンテンツや、幅広いジャンルを網羅した作品群で会員獲得！

<23年度1Qの人気作品>

「だが、情熱はある」 	「Dr.チョコレート」 	「世界の果てまでイッテQ！」
「君と世界が終わる日にS4」 	「劇場版 名探偵コナン」 	「プロ野球 巨人戦」

■ Huluストア事業（TVOD＝都度課金）が好調！

- ・乃木坂46 齋藤飛鳥 卒業セレモニー
 - ・D.U.N.K.-DANCE UNIVERSE NEVER KILLED-
 - ・TWICE 5TH WORLD TOUR READY TO BE
 - ・ヴィッセル神戸 vs. FCバルセロナ
- などアーティストものや音楽ライブに加えスポーツ案件も好結果！

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

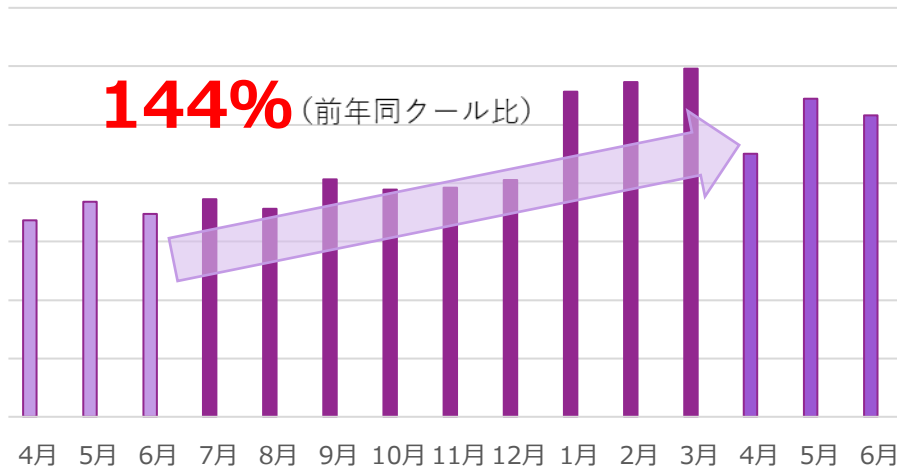
配信事業：TVer (AVOD)

TVer 状況

- 配信番組数：650以上 (全局総計)
- 1Q 全局全コンテンツ 再生数：9.93億 (前年4Q比：113%) UB数：4,171万 (前年4Q比：110%)
(TVerにおける広告付き全コンテンツ)
- アプリダウンロード数累計：約6,000万

日本テレビの取組

日本テレビ AVOD月間総再生数 (2022年4月～2023年6月) ※VODのみ



□ 金曜ドラマDEEP「夫婦が壊れるとき」がヒット!

4月期に新設された金曜ドラマDEEP枠。第1弾の「夫婦が壊れるとき」(全13話)は本編見逃し&TVerオリジナルの総再生数3,000万を突破。



□ Good For the Planet TVer特集展開

「地球のため、未来のため、より良い暮らしのためにいまできる事」をオール日テレ系一丸となって取り組む企画。全29局がTVer上の特集にも参加。関連コンテンツの総再生数210万を突破。



HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

新規事業・M&A

アルファコード



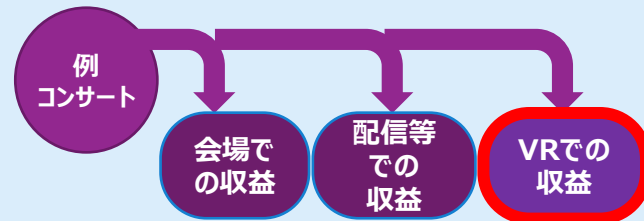
<https://www.alphacode.co.jp/>

- 2023年7月、180度/360度の3D実写映像をベースとしたVR/XRコンテンツの制作と配信プラットフォーム事業を手掛ける株式会社アルファコードへ出資。
- Appleなど、米中の大手メガテック企業が相次いでVR/XRデバイスを発表し、VR/XR市場は今後更に成長すると予測。
- 新たな感動体験を創出すべく、日本テレビが持つ企画力やコンテンツ力とアルファコードが持つVR/XR関連技術を結集し、VR/XRコンテンツの制作や配信及びビジネス創出に取り組む。

■ 今後の協業例の一部

リアルイベントにおける第三の収益源

コンサートやイベント等を、更なる没入感のあるリアルな体験としてVR撮影/配信も行う。従来のリアル会場やHulu/CS配信などの体験提供と収益に加え、**より深い体験が可能なVRでも収益化**を図る。



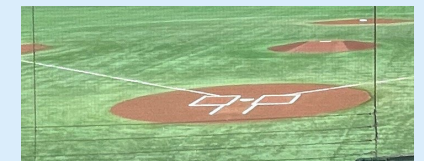
番組コラボ

日テレの番組とコラボし、ドラマのメイキングをVRで配信するなど、新しい表現や没入感のある宣伝方法として活用。話題づくりとともに、**その場にいるかのような体験**を提供することでファンの満足度を高めていく。



スポーツなどのコンテンツ展開

スタジアムの臨場感や新しいスポーツの楽しみ方をVRで提供。**VRプラットフォーム「Blinky」はVRライブ配信にも対応**しており、新たなスポーツ観戦体験の実現が可能。



VRプラットフォーム
Blinky





LIVEPARK

のぞいてニッポン
ビジネスモデル

LIVEPARK
サイト運営、編集部運営

全国ローカル局
番組動画を掲載
放送済みやオリジナルもあり



楽天が広告セールス
放送局と一緒にセールスすることも

のぞいてニッポン(LivePark事業)

- 「地方創生」を目的とした動画メディア「のぞいてニッポン」7/14開始
- 日本テレビグループのLiveParkが複数の地方TV局と楽天グループと協業
- LiveParkが編集部を運営し、楽天がセールスやポイント集客などを担当
- 今後参加放送局をさらに拡大。動画配信の新しい収益化として成長期待

<https://local-tv.marketplace.rakuten.co.jp/>



ビジネスモデルと 収益分配について

広告売上のうちサイト運営コストを差し引いた金額を、放送局、LivePark、楽天で分配する。いわゆるインターネット広告とは異なりECに直結しているため、ふるさと納税、トラベル、地域企業の物販などに直結しており、収益単価が高い。

「のぞいてニッポン」



補足資料

セグメント別 実績

(単位：百万円)

	売上			営業利益		
	2022年度1Q	2023年度1Q	増減	2022年度1Q	2023年度1Q	増減
メディア・コンテンツ事業	93,154	90,327	△2,827	11,295	9,535	△1,760
生活・健康関連事業	6,457	6,598	140	△223	6	230
不動産関連事業	2,729	2,777	47	931	1,077	146

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

連結業績及び配当予想

■ 2023年5月開示のものから変更ありません

(単位：百万円)	2022年度実績	2023年度予想	増減	増減率
売上高	413,979	436,000	22,021	5.3%
営業利益	46,593	48,000	1,407	3.0%
経常利益	51,775	54,000	2,224	4.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	34,081	37,000	2,919	8.6%

配当

(単位：円)	第2 四半期末	期末	合計
2022年度実績	10	27	37
2023年度予想	10	27	37

2023年度 日本テレビ地上波広告収入の見込み（前期比）

	前提
タイム	2.2%
スポット	2.7%

HD:決算概況

グループ会社

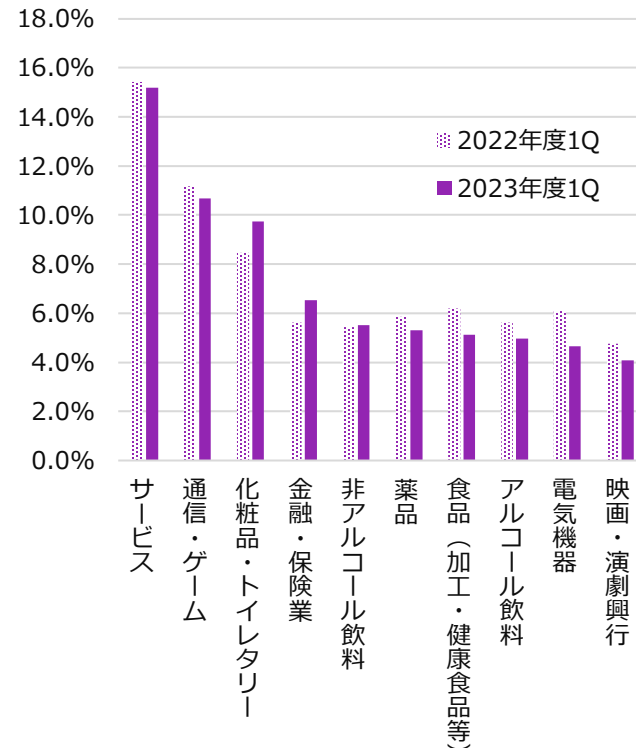
日本テレビ放送

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

2023年度1Q スポット業種別売上シェア -地上波（日本テレビ放送網）-



	2022年度1Q	シェア (%)	増減率
1	サービス	15.4	41.2%
2	通信・ゲーム	11.2	△38.7%
3	化粧品・トイレタリー	8.5	△25.8%
4	食品 (加工・健康食品等)	6.2	8.6%
5	電気機器	6.1	7.0%
6	薬品	5.9	0.5%
7	金融・保険業	5.6	6.3%
8	アルコール飲料	5.6	18.6%
9	非アルコール飲料	5.4	△23.3%
10	映画・演劇興行	4.8	6.9%

	2023年度1Q	シェア (%)	増減率
サービス	15.2	△5.7%	
通信・ゲーム	10.7	△8.5%	
化粧品・トイレタリー	9.7	10.3%	
金融・保険業	6.5	11.3%	
非アルコール飲料	5.5	△2.9%	
薬品	5.3	△13.1%	
食品 (加工・健康食品等)	5.1	△20.8%	
アルコール飲料	5.0	△15.3%	
電気機器	4.6	△26.9%	
映画・演劇興行	4.1	△18.0%	

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送網




コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

2023年度 映画事業の主なラインナップ

★ = 日テレ共同幹事作品 ○ = 日テレ出資作品 ■ = 日テレ幹事作品

公開	作品名	配給	備考	
9/8 (金)	○劇場版シティーハンター 天使の涙(エンジェルダスト)	アニプレックス	2019年に復活した『劇場版シティーハンター』の大ヒットを受け、待望の新作が公開。原作のラスボス“海原神”がついにアニメ初登場！更に、伝説のアーティスト“TM NETWORK”が完全復活！！ 原作 : 北条 司 / 総監督 : こだま兼嗣 出演 : 神谷明 伊倉一恵ほか ©北条司/コアミックス・「2023 劇場版シティーハンター」制作委員会	
10/13 (金)	■ゆとりですがなにか インターナショナル	東宝	2016年4月期に日ドラで放送された人気ドラマの劇場版が登場！ドラマに出演していた豪華キャストが再集結！脚本・宮藤官九郎×監督・水田伸生が送る、オリジナル脚本による新時代コメディ。 監督 : 水田伸生 脚本 : 宮藤官九郎 出演 : 岡田将生 松坂桃李 柳楽優弥 ほか ©2023「ゆとりですがなにか」制作委員会	
12/15 (金)	★屋根裏のラジャー	東宝	興行収入32.9億円を記録した大ヒットアニメーション映画『メアリと魔女の花』から6年ぶりとなるスタジオポノック長編作品。超豪華俳優陣を声優に迎え、今冬観るべき超大型アニメーション映画として大ヒットを目指します！ 監督 : 百瀬義行 脚本 : 西村義明 出演 : 順次情報解禁予定 ©2023 Ponoc	

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料

2023年度 イベント事業の主なラインナップ

期間	イベント名	内容
2023年7月19日(水)～ 7月24日(月) 日本橋三越本店	 <p>「ぶらり途中下車の旅」 沿線おいしいもの&アート巡り</p>	<p>番組放送30周年「ぶらり途中下車の旅」の物産展を開催! 番組で紹介されたあの味やアート・工芸が日本橋に大集合!!</p> <p>過去に番組で紹介されたお店が多数出店。イートインや実演での食品の販売やアート・工芸品が日本橋三越本店に大集合します。 会期中、旅人の林家たい平さん・小島奈津子さん・太川陽介さんのトークショーも開催! 日本テレビの人気番組とイベント事業部が手を携えての新規イベント事業です。</p>
2023年10月31日(火)、 11月1日(水) 紀尾井ホール (東京都千代田区)	 <p>久石譲プレゼンツ ミュージック・フューチャーVol.10</p>	<p>テリー・ライリー×久石譲 世界が刮目するミニマルミュージックの頂点 “現代の音楽”ここに極まる</p> <p>作曲家・久石譲が現代の音楽をナビゲートするコンサートシリーズの第10弾! 《ARTISTS》久石譲、テリー・ライリー、Music Future Band 《PROGRAM》テリー・ライリー：A Rainbow in Curved Air、 久石譲：新曲、ほか</p>
2023年10月14日(土)～ 12月9日(土) 横浜・川口・高崎・水戸・ 市川・府中にて開催	 <p>それいけ! アンパンマン ミュージカル「まもれ! 黄金の炎」</p>	<p>お子様のファーストミュージカルにぴったり 家族みんなで楽しもう!</p> <p>小さなお子さまが初めて鑑賞するに相応しい「アンパンミュージカル」が、今年も関東各地で開催。各公演終了後には大好評のキャラクター写真撮影タイムも! みんなで、たのしくおどって、てをたたこう! ご家族の思い出に残る一日をお過ごしください。</p>

ほかにも沢山の音楽ライブ、舞台、展覧会を準備しています。詳しくは《日テレEVENT NEWS》まで
<https://www.ntv.co.jp/event/>

資本効率等に関する計画

2023年5月11日開示

中期経営計画に沿った成長戦略の推進

- 「コンテンツの価値最大化」「新規ビジネス創出の加速」「ウェルネス経済圏の構築」を推し進め、売上・利益の拡大を目指す。

政策保有株の削減に向けた対応

- 政策保有株については、保有の合理性について随時見直している。2022年度は、純資産に対する比率が20%未満となった。

株主還元に対する考え方

- 継続的で安定的な株主還元を基本方針としつつ、総還元性向30%を目指していく。

中期経営計画を達成し、業績を上げることでROE向上を目指していく

HD:決算概況

グループ会社

日本テレビ放送

コンテンツ戦略

新規事業

補足資料